

## 第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

### 報告書資料 復興支援－18

学校名・団体名	石巻市立蛇田中学校
HPアドレス	<a href="http://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20400700/">http://www.city.ishinomaki.lg.jp/school/20400700/</a>
コース	学校支援
活動・研究テーマ	獅子舞による地域伝統芸能継承活動
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>1. 活動 総合的な学習（文化祭での縦割り総合活動）および地域の祭りへの積極的な参加活動</p> <p>2. 目的 ①伝統芸能を引き継ぐ活動を通して、地域のために貢献しようとする意識を育てる。 ②獅子舞の演技及び練習を通して、自己表現力を高める工夫をする力を育てる。</p> <p>3. 研究の意義 ①本校教育活動の柱の一つである、文化祭での縦割り総合活動を通して、活動の達成感・充実感とともに、生徒自身の創意工夫が十分に涵養されること。 ②地域で行う獅子舞活動として、地域の人たちとの交流とともに、親の世代から子に引き継がれていく伝統活動を中学生が行うこと。 ③震災から5年目を迎え、海岸地域で被災した人たちが転居してきたり、仮設住宅や復興住宅に居住している蛇田地区の特性から、獅子舞が住民の人たちを元気にする活動として続けていくこと。</p>	

## 1 活動の時期と内容

時期	活動内容	活動のようす
6月20日	【地区】蛇田地区獅子舞保存会「高玉青年会」と打合せ	○今年度第1回目
6月26日	【学校】文化祭 縦割り総合的な学習選抜総選挙	○参加希望生徒の募集
7月9日	【学校】縦割り総合的な学習 1回目	○活動オリエンテーション ○生徒 26名 3年1名 1年4名 2年21名
7月18日	【地区】獅子舞保存会と打合せ	○今年度2回目 ○中学生活動計画の提示
7月18日～		
8月8日	【地区】希望生徒による練習会	○中卒集会所で実施(4回)
8月29日	【地区 復興支援】高玉神社夏祭り ※地域の方々に元気を与える獅子舞を発表した。	○獅子舞発表 生徒20名
9月17日	【学校】縦割り総合的な学習開始(木曜日2時間)	○活動目標の設定 リーダー選出 ○パート分け 練習計画
10月3日～		
20日	【地区】獅子舞保存会の方々による練習会	○中卒集会所で実施(4回) ○獅子 太鼓 笛の演技技能を指導していただいた
10月23日	【学校】文化祭(蛇田祭) 獅子舞発表 ※オープニングを飾る発表を行った。	○蛇田祭 縦割り総合10年目の節目を祝うオリジナルの演技を披露した
10月26日	【学校】縦割り総合的な学習の反省会	○生徒によるふりかえり
11月1日	【地区 復興支援】蛇田公民館歳末チャリティーにて獅子舞発表 ※地区の敬老会も兼ねていて、多数の年配者に喜ばれた	○生徒13名参加 ○150名の観客の前で演技披露
12月19日	【地区】獅子舞保存会と打合せ	○今年度3回目
12月22日	【学校】獅子舞練習	○正月の獅子舞に向けた練習
1月2日	【地区】正月 獅子舞地区巡り ※正月を祝い、地区内の家々を回って家内安全などを祈念した。	○生徒17名参加
3月10日～		
17日	【学校】蛇田地区復興ふれあい祭り in 蛇中 に向けた練習	
3月19日	【学校 地区 復興支援】 蛇田地区復興ふれあい祭り in 蛇中 にて獅子舞発表 ※学校で行っている、復興支援活動として今年度実施 教育委員会の後援を受け、復興住宅や仮設住宅に住む方々を励ます祭りの中で、獅子舞の発表をする。	

## 2 活動の成果

### (1) 学校への成果

獅子舞活動も4年目となり、文化祭での定番となっている。また、地域への貢献も評価されているため、教員からも協力しようという無形の支援を受けられるようになった。学校で何か発表しようとすると、本校の顔である吹奏楽部と並んで「獅子舞」を出そうという雰囲気がつくられている。

### (2) 地域への成果

一つ目は、獅子舞活動を行った卒業生が地域での発表があると参加してくれることである。中学校を卒業しても獅子舞に愛着をもってくれていることに、素直に感動することと当初のねらいである、伝統芸能の継承が達成されつつあることを感じている。

二つ目は、活動する生徒たちはほぼ3年間続けるので、獅子舞を支援している保存会のみなさんと知り合いになれることである。さらに、毎年中学生の獅子舞を楽しみにしている地域の方々から、「よかった」「また見にくるからね」と、声をかけてもらっていることが活動の励みとなっていることである。

地域に根付いた活動となったことで、保護者だけでなく多くの人たちからの援助をいただくようになってきている。

### (3) 生徒への効果

今年の活動で一番の成果は、オリジナルの演技を作り上げたことである。文化祭担当より、今年度は縦割り総合の発表を始めて10周年であることから、各団体で(祝)を取り入れた発表を。と依頼を受けていた。そのことを生徒に伝え、出した答えが、「演技の初めと終わりに、笛と太鼓のオリジナル演奏を入れる」「垂れ幕を下げる際、脚立を使って3mの高さから下ろす」であった。今年の生徒は、2年生が中心であり、少し慣れたところで演技に緊張感が欠けていたため、新しい取組は活動に活気を与え、唯一の3年生が本気で完成させようと1, 2年生を引っ張っていくリーダー性を発揮することにつながった。教員からの期待も大きかったが、生徒たちは見事に期待に応えることができた。

また、保存会の方々からにも少し厳しく指導するようお願いしたところ、獅子の動きや太鼓の演奏で、少し高度な技術を教授していただいたため、新しい演技に興味をもって練習に励むようになった。

何か学校であると、獅子舞を、ということを生徒たちも感じるようになり、獅子舞に対する意識が高まってきていることに、指導教員として喜びを感じている。

## 3 まとめ

○獅子舞の活動は、当初に比べるとかなり大がかりなものとなってきたため、学校で用具を揃える必要を感じていたところ、貴財団による支援を受け、今年度は太鼓をそろえた。これにより学校で練習できるようになり、活動の度に貸し出しを受ける手間がなくなったため、練習する時間がふえた。

○獅子舞活動の生徒は30名ほどであるが、地域に根付いた活動として蛇田地区の歴史と伝統を受け継いでいく生徒の育成に向けて、次年度以降も工夫を重ねて励んでいきたい。